

【4面からの続き】  
「清風クラブ」総括質問  
を伺う。

**企画部長** 導入した自治体の運用実態の調査や、近隣自治体での活用動向などを注視しつつ、本市におけるSNSの在り方について研究を進めていく。

**問** 佐賀県武雄市、鳥取県米子市などでは、SNSの一つであるフェイスブック

### 公明 ひらつか

小笠原 千恵美 議員

#### 湘南海岸公園再整備基本方針について

**問** 国道134号の拡幅と並行して公園の再整備方針が示されたが、今後のスケジュールと課題を伺う。

**まちづくり事業部長** 平成24年度に計画を策定し、25年度には実施設計を行うが、既存の施設や国有地の活用などが課題となっている。「虹ヶ浜ゾーン」における大規模災害への対策を伺う。

**まちづくり事業部長** 見直しを行っている地域防災計画を反映させていく。

**問** 「龍城ヶ丘ゾーン」の整備基準と、市民意見の反映方法を伺う。

**まちづくり事業部長** 市街地の公園にはない施設の整備、既設構造物の活用、景色を楽しめる場の提供がコンセプトである。計画案を示す段階で市民の意見を募

を活用しており、市民への情報発信はもちろんのこと、市外への情報発信の強化を図っている。本市としてもフェイスブックの一つの情報発信ツールとして導入すべきと考えるが見解を伺う。

**企画部長** フェイスブックはSNSのカテゴリーの一つとして認識しており、ツイッター同様、さらに研究を進めていきたい。

集し、計画に反映させる。

#### 平塚の安心・安全について

**問** 通学路安全対策事業の現状と課題を伺う。

**学校教育部長** 通学路の安全確保のため、見守り事業を継続的に支援している。

**市民部長** 交通安全に関する多数の要望があるので、早急に対応する。

**問** 自転車利用のネットワーク形成に関し、市民の意見をどう反映するのか。

**市民部長** 市民の意見や実態調査を踏まえ、関係機関と連携し、自転車通行帯の環境整備を推進する。

**問** 自転車の走行マナーの向上に向けた対策は。

**市民部長** 交通安全教室などを通じて推進している。

**問** 中心商店街での違法駐車対策はとっているのか。

**伊東 尚美 議員**  
**中心商店街の活性化**  
**問** まちのにぎわいの創出は、経済部だけでなく各部署が連携し、市として取り組むべきと思つて見解は。

互の連携などについて話し合う機会を増やしたい。

**問** 地域のコミュニティづくりの一つとして、商店街で子育て支援や高齢者に優しい取り組みが展開できないか伺う。

**経済部長** 庁内関係課や商店会をはじめ、関係団体とも連携して検討していく。

**プレミアム商品券**  
**問** 今回が2度目の発行だが、なぜ今行うのか。

**経済部長** 本市経済の活性化と、近隣市で大型商業施設が開業した影響を踏まえ支援することとした。

**五領ヶ台高校跡地について**  
**問** 県は児童自立支援拠点の候補地だと発表したが、本市の考えを伺う。

**企画部長** 地元への丁寧な説明などを要望した。今後、も適宜、県との調整を進める。

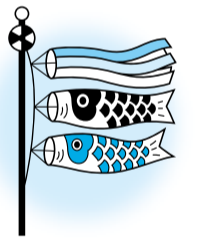
### 平塚市民クラブ

野崎 審也 議員

#### スピード感のある防災・減災対策

**問** 防災は対応を誤ると人災として行政責任が問われかねない。震災を風化させないためにどのように取り組んだのか伺う。

**防災危機管理部長** 防災・減災に対する意識で業務を遂行し、職員行動マニュアルの策定や職員防災研修会



たのか伺う。

**市長** 相模川、花水川を遡上する津波の被害が想定されるので、国・県の河川管理者に防波堤の高さについて改修を働きかけている。

**問** JR東海道線以南で高い場所がない地域における津波対策の具体的な取り組みを伺う。

**防災危機管理部長** 津波避難ビルを指定し、海抜表示板も90か所増設した。防災マップの全戸配布、海岸や河川区域での津波避難訓練の充実、強化を図っていく。

**問** 防災マップは、津波浸水の危険が高い地域に、地区ごとに分かりやすいものを作成・配布できないか。

**防災危機管理部長** まずは全戸に配布するが、浸水する地区には拡大版を作成し配布していきたい。

**問** 海抜表示板も危険地域を優先し設置してはどうか。

**防災危機管理部長** 平成24年度に金目川、相模川沿いに設置する。

#### 平塚競輪場の防災の拠点に

**問** 整備計画の内容、スケジュール、財源等を伺う。

**公営事業部長** 平塚競輪場施設整備基本計画を策定しており、平成27年度の完成に向け広域避難施設の機能を持ったメインスタンドの

### 日本共産党平塚市議会議員団

高山 和義 議員

#### 中学校給食のCSR

**問** 昨年10月に実施した中学校給食に関するアンケート調査は、給食にかかる経費が強調され、給食の重要性や地産地消の観点から弱かったのではないかと。

**教育総務部長** 給食は食育・地産地消の観点からも重要で、実施計画に位置づけて検討したい。

**成年後見センター**  
**問** 成年後見利用支援センターの役割や、市のビジョンを伺う。

**福祉部長** 今後検討会を設け取り組んでいる。今後も重点的に取り組みたい。

**問** 条件の整っている中学校から給食を実施することもできる。調理場の建設も市有地を使えば経費がかからないのではないかと。

**教育総務部長** 現共同調理場の耐震診断の結果を待つて検討したい。

#### 無所属

片倉 章博 議員

#### 湘南バンクひらつか

**問** 新たな競輪事業に向けた取り組みや、施設に対するの有効利用等の考えがあるか伺う。

**公営事業部長** 「ガールズケイリン」が7月から始まり、平塚競輪場が開催場の一つとして決定している。また、開催日以外にはフリーマーケットや民間企業への正門広場の貸し出しを行っている。3月24日には「湘南バイシクルフェス」も開催する。

置し、平成26年度に開設する予定である。制度の普及啓発や利用相談、市民後見人の養成などが役割である。

**問** 法人後見人・市民後見人の登録状況を伺う。

**福祉部長** 法人後見人は複数の実績がある。市民後見人は体制づくりが求められており、検討課題である。

**家具転倒防止対策**  
**問** 大地震発生時に命を守り避難路を確保するための「固定金具取り付け事業」を実施すべきでは。

**防災危機管理部長** 自力での対応が困難な方の支援策を早急に検討する。

**公営事業部長** 最大津波高と予想される6・8メートルの津波が本市沿岸部に襲来した場合、大浜地区と国道134号以北の千石河原地区の一部は1・2メートル、相模川左岸の須賀地区は約2メートルの浸水があり、札場町と競輪場がある久須賀地区は浸水しない。

**問** 地域の避難場所となっている競輪場施設の備蓄状況について伺う。

**公営事業部長** 競輪場の備蓄物資については、避難所用として施設内に長期保存食を1860食備蓄しているほか、屋外防災備蓄倉庫に災害時の応急対応に必要な生活必需品や資機材を分散して備蓄している。屋外備蓄倉庫には、26品目の物資が保管されている。